

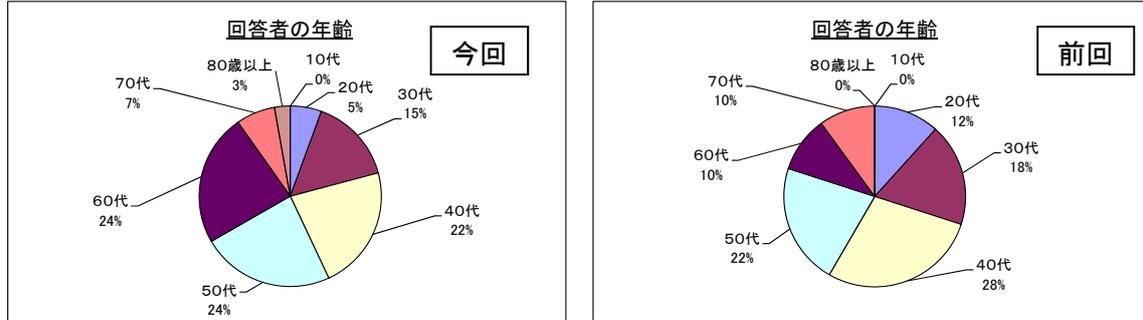
# EST普及推進フォーラム アンケート集計結果

(今回総数 72 件)

(前回総数 62 件)

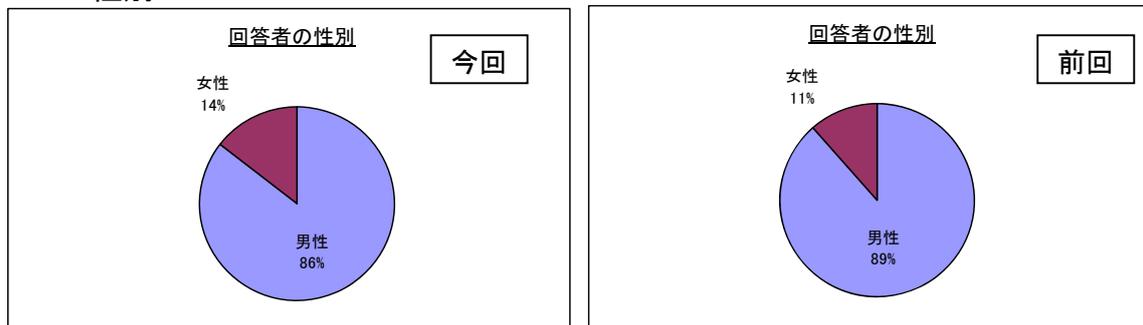
## I あなたご自身についてお聞きします。

### Q 1 年齢



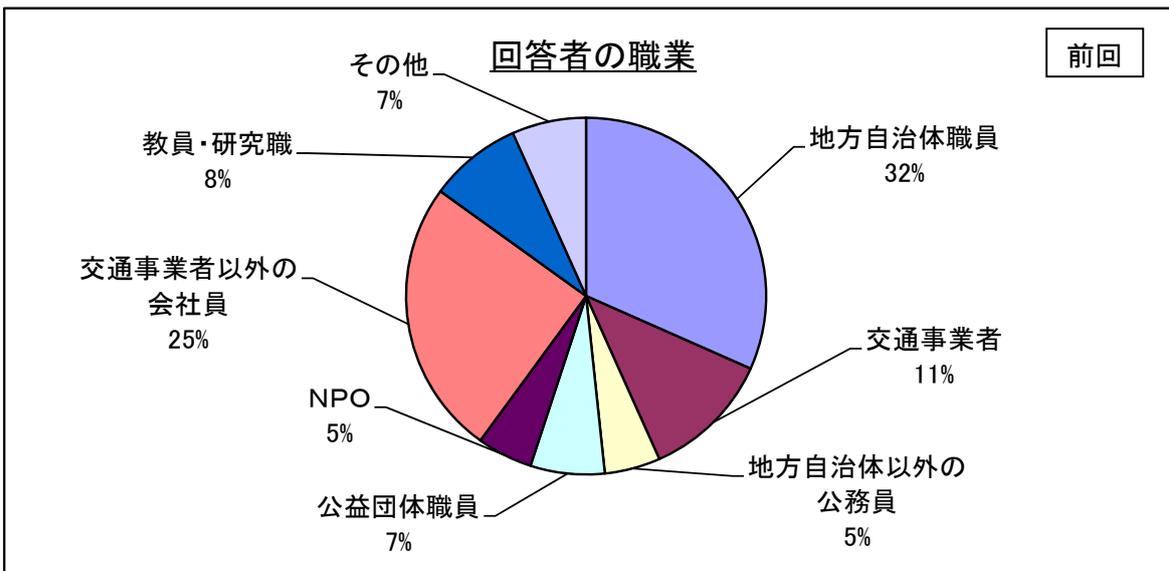
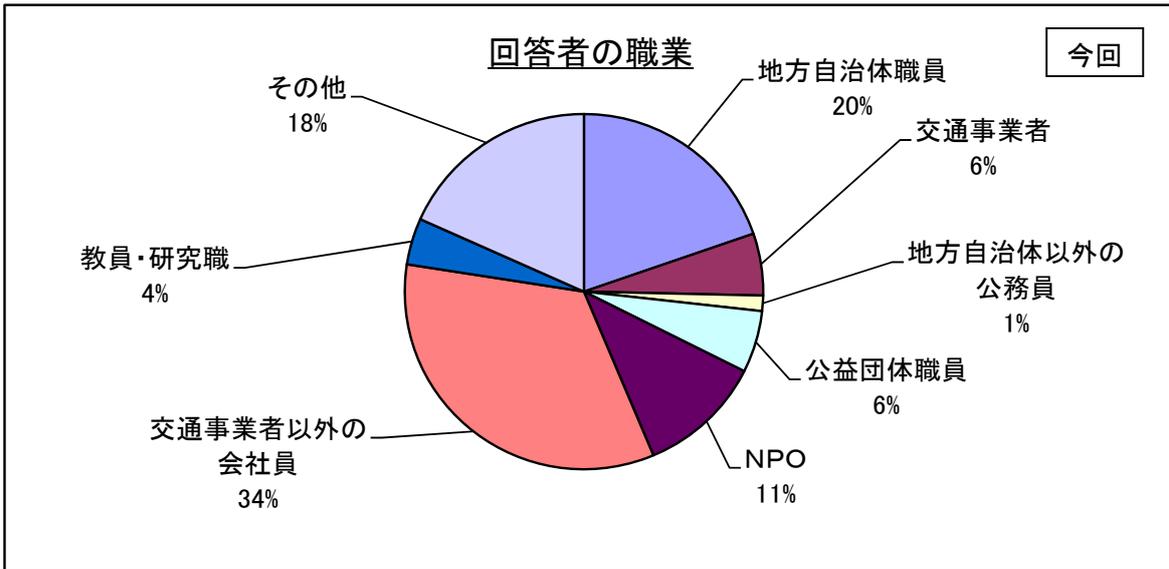
・前回と比べて20代、40代が減少し60代の割合が増加しているが、各世代からの参加があった。

### Q 2 性別



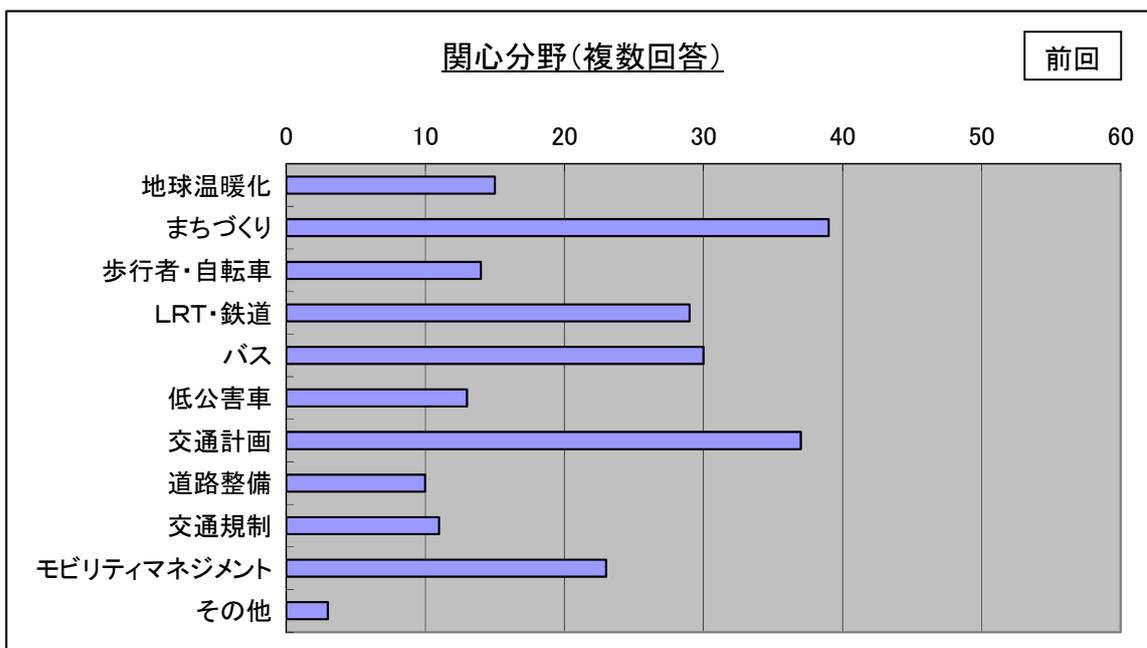
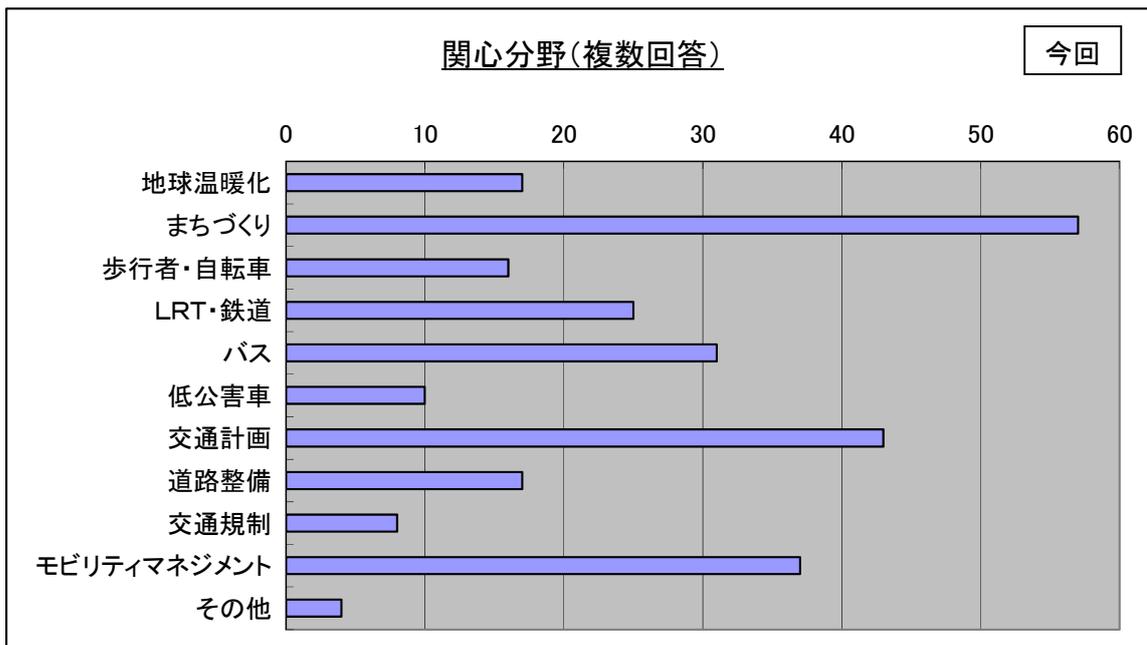
・前回と同様、男性の参加者が多くなっている。

### Q3 職業



- ・ 主な参加者は、地方自治体職員、交通事業者以外の会社員である。前回と比較して、地方自治体職員の割合が減少し、交通事業者以外の会社員の割合が増加している。

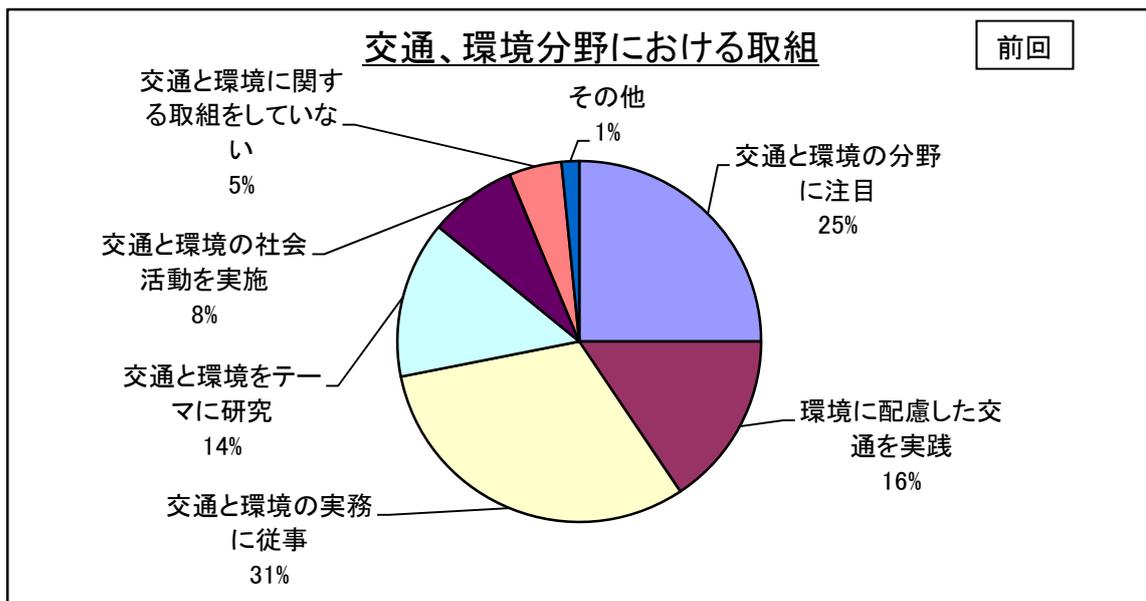
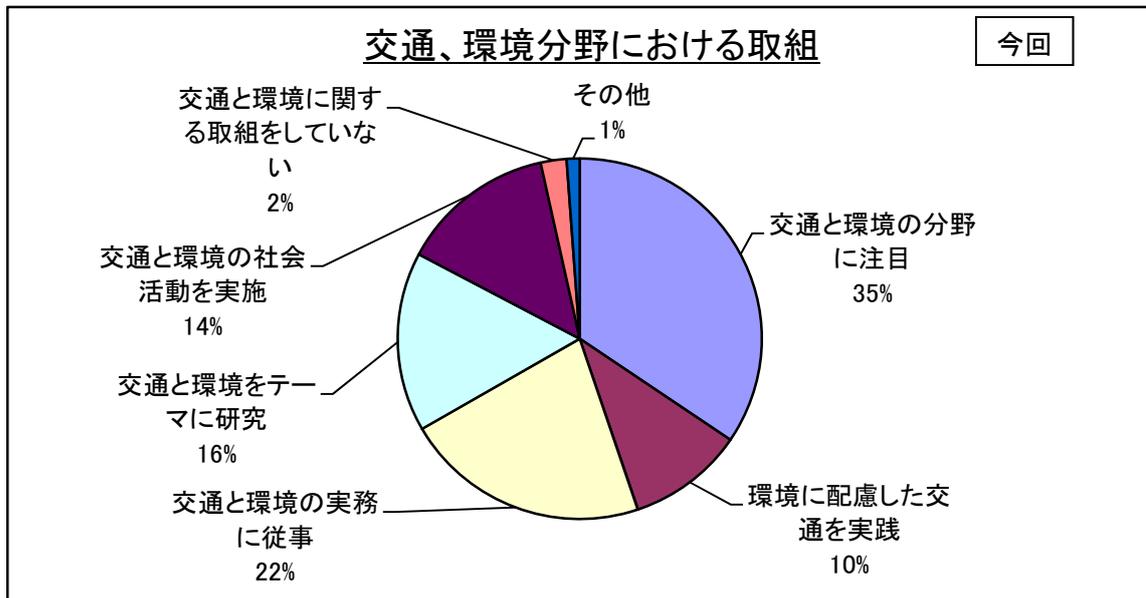
#### Q 4 関心分野



- ・前回と同様、まちづくりに興味があると回答した参加者が最も多く、回答者数も増加している。前回と比較して、交通計画、モビリティマネジメント、道路整備に興味があると回答した参加者が増え、LRT・鉄道と回答した参加者が減った。

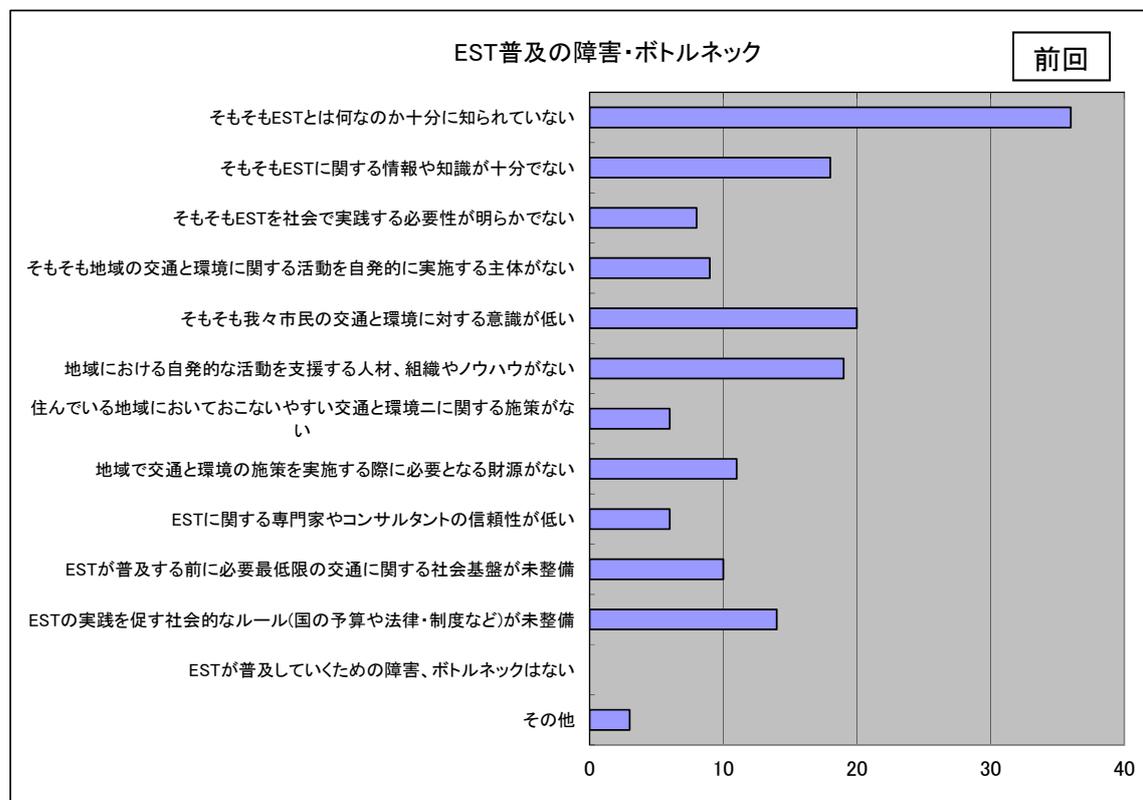
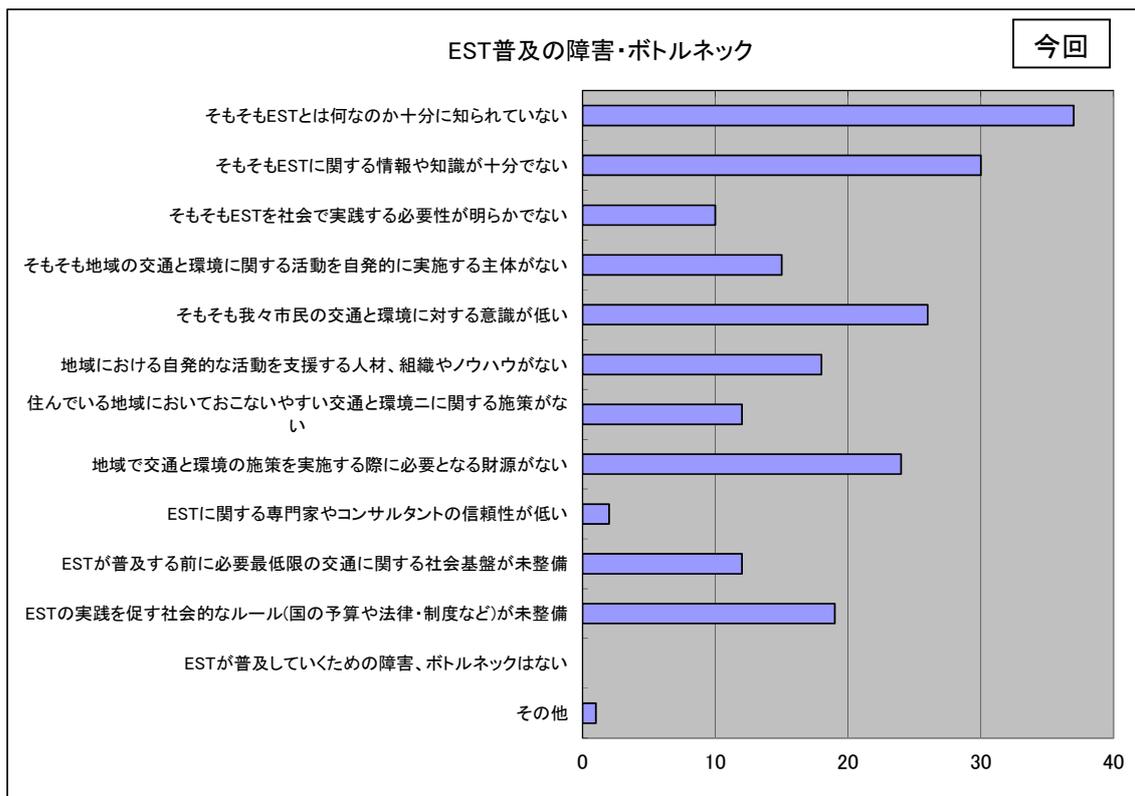
Ⅱ 本日のシンポジウムのテーマであるESTの普及推進についてお聞きします。

Q 1 現在、あなたは交通と環境の分野において、どのような取組みをしていますか？



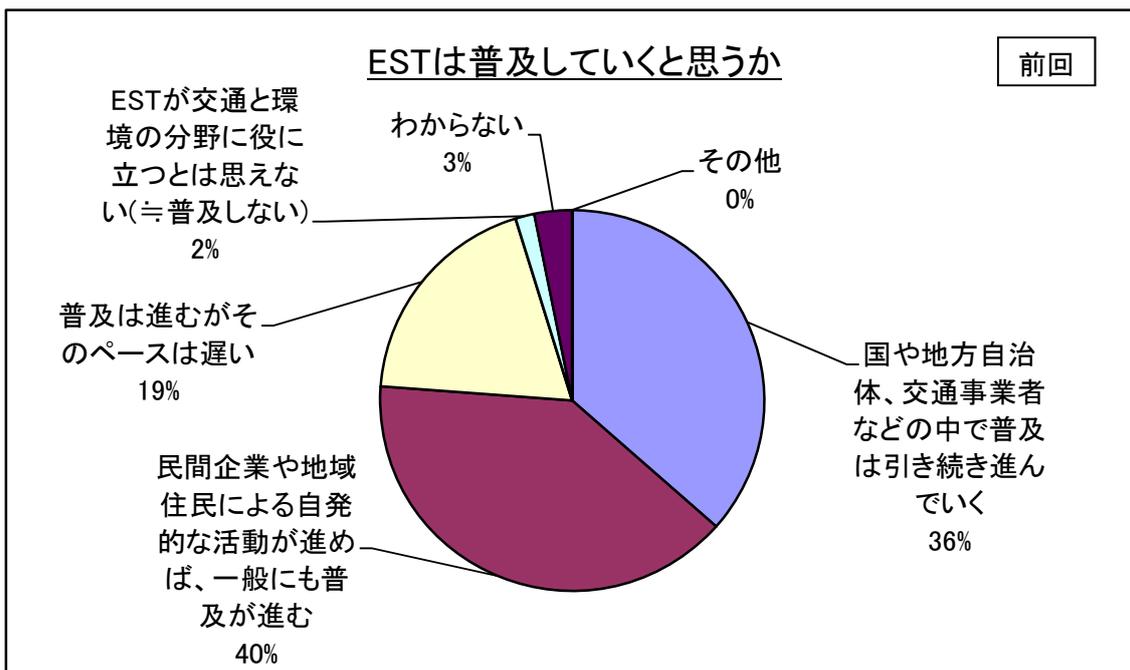
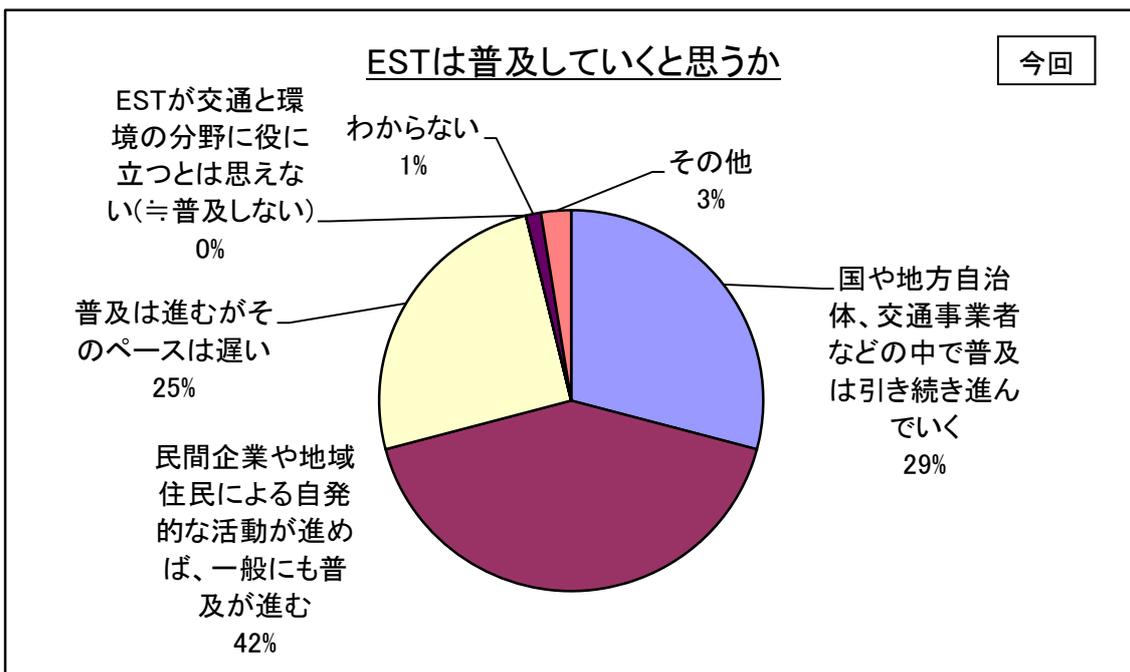
・前回と同様、現在参加者が取組んでいる活動は、交通と環境の分野に注目、交通と環境の実務に従事と回答した参加者が多かった。

Q2 現在、ESTが普及していくためには、何が障害、ボトルネックになっていると日頃お感じになりますか？



・ EST普及の障害、ボトルネックについて、前回と同様、そもそもESTとは何なのか知られていないと回答する参加者が多かった。また、そもそもESTに関する情報や知識が十分でない。と回答する参加者が増加した。

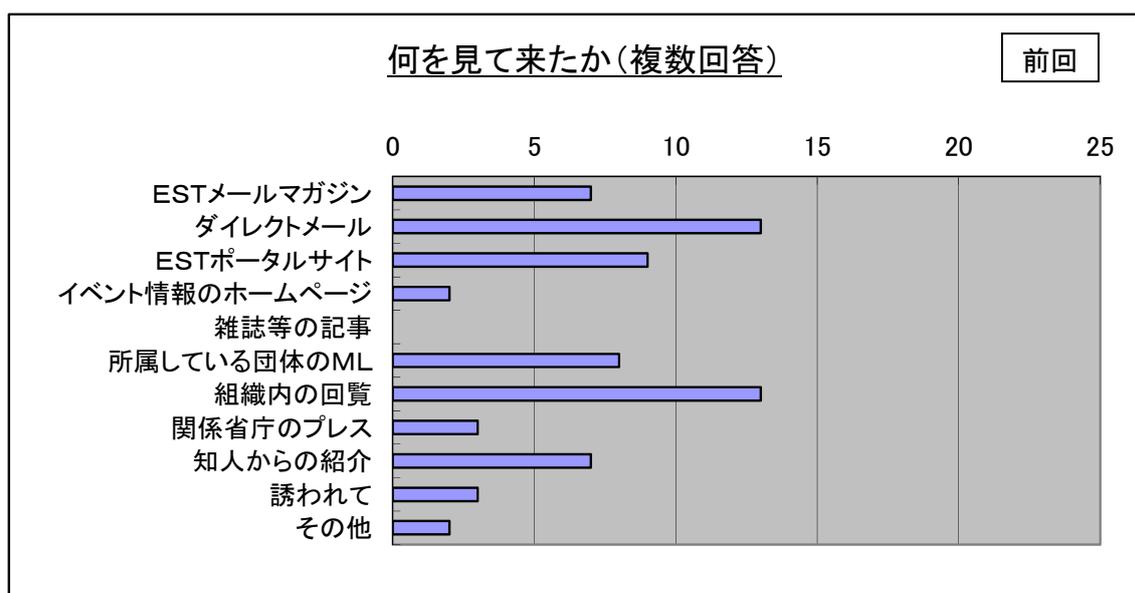
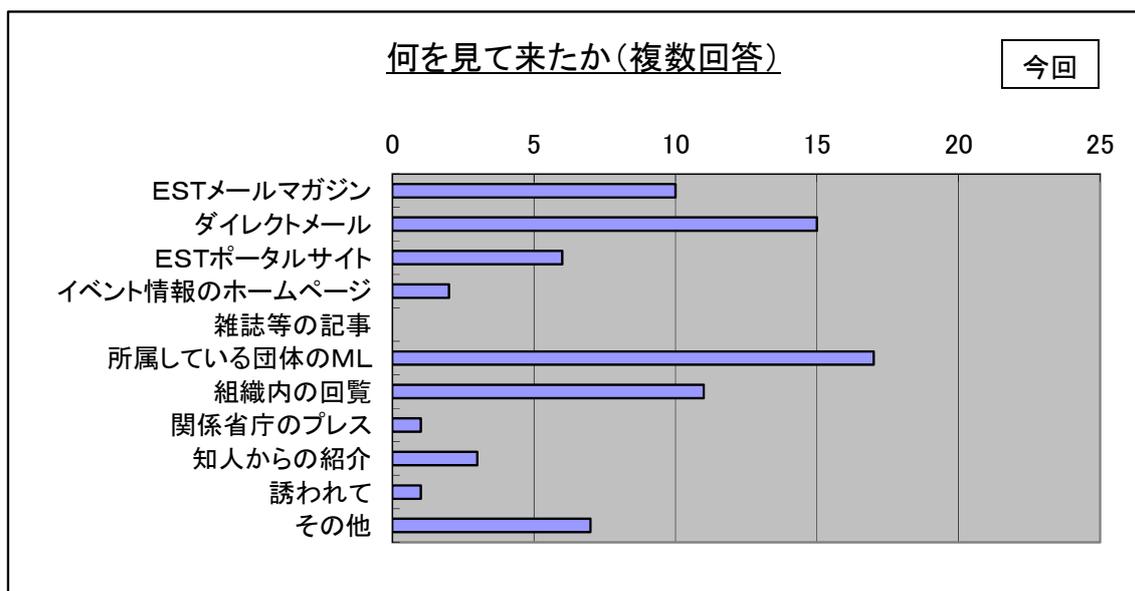
Q 3 今後、ESTは普及していくと思いますか？



・ESTの普及に関して、前回と同様、民間企業や地域住民による自発的な活動が進めば、一般にも普及が進むと考えている参加者が最も多く、次いで、国や地方自治体、交通事業者などの中で普及は引き続き進んでいく、普及は進むがそのペースが遅いと考えている参加者が多かった。

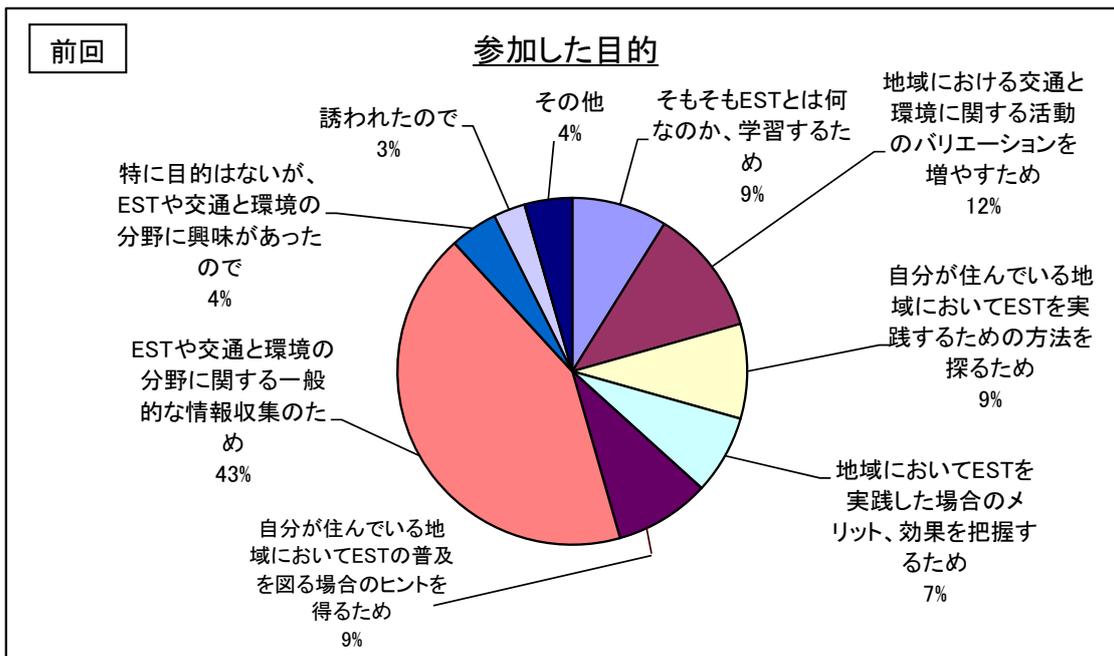
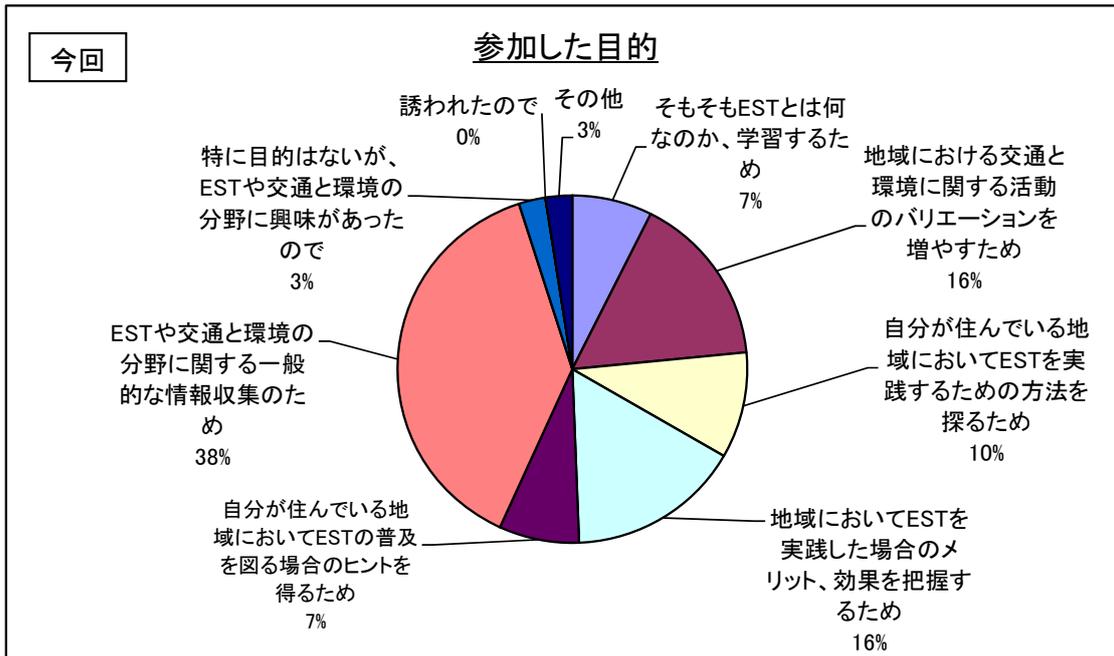
### Ⅲ 本日のシンポジウムについてお聞きします。

#### Q 1 何を見て来られましたか？



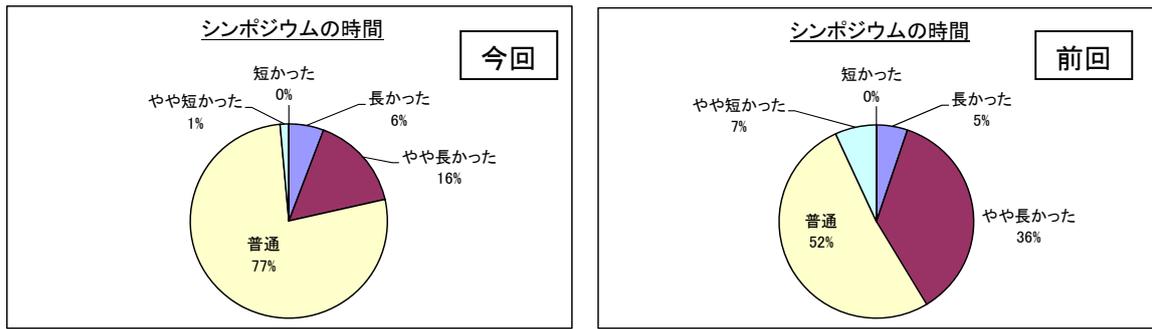
- ・所属している団体のML、ダイレクトメールを見て参加した参加者が最も多く、次いで、組織内の回覧と回答した参加者が多かった。

Q 2 今日のシンポジウムに参加した一番の目的は何でしたか？



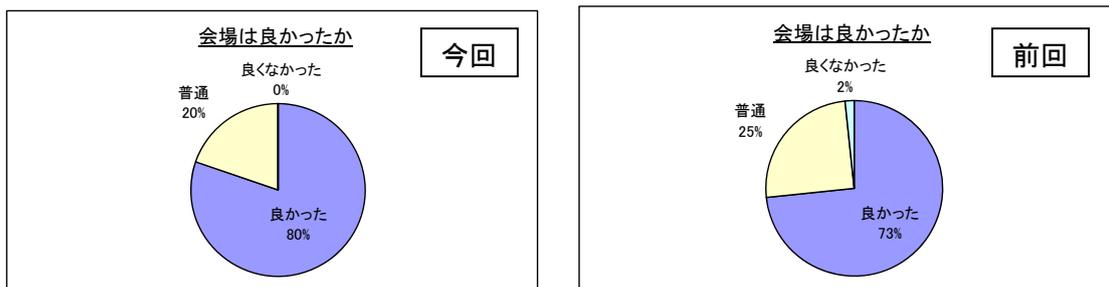
- ・前回と同様、ESTや交通と環境の分野に関する一般的な情報収集のために参加する参加者が最も多く、次いで地域における交通と環境に関する活動のバリエーションを増やすため、地域においてESTを実践した場合のメリット、効果を把握するために参加する参加者が多かった。

Q 3 今日のシンポジウムの時間の長さはいかがでしたか？



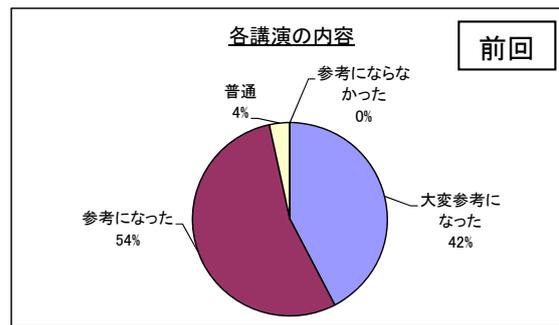
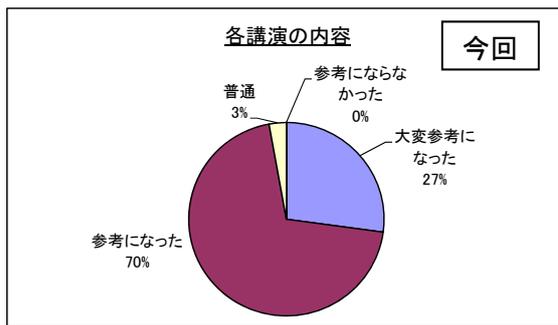
- ・前回と同様、シンポジウムの時間は概ね普通である。また、やや長かったと感じる参加者は前回に比べて減少した。

Q 4 会場はいかがでしたか？



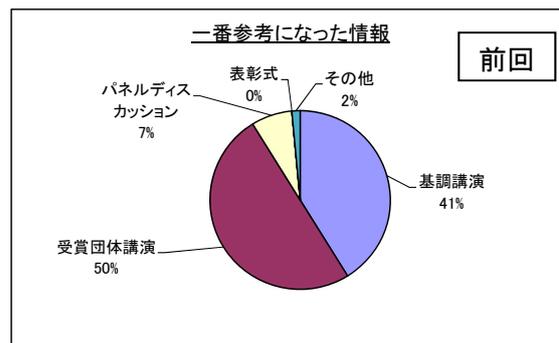
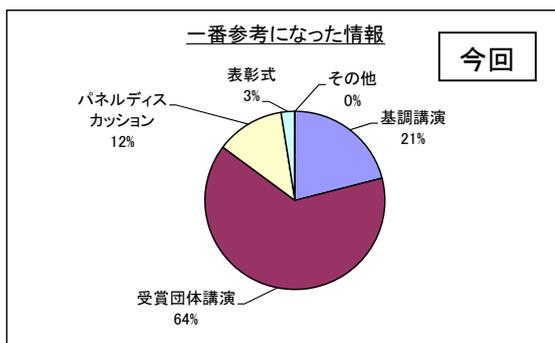
- ・会場は良かったと回答する参加者が多く、次いで普通と回答する参加者が多かった。

Q 5 各講演内容はいかがでしたか？



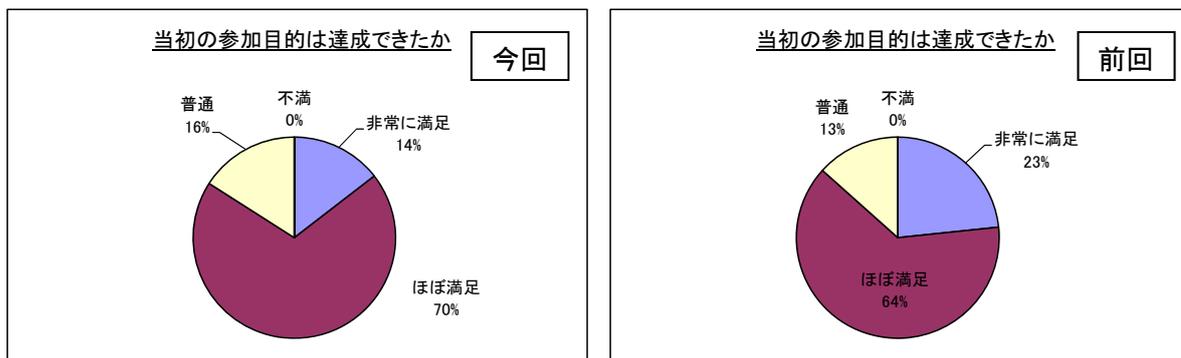
・前回と同様、参考になった、大変参考になったと回答した参加者が9割以上を占めた。

Q 6 一番参考になった情報は何ですか？



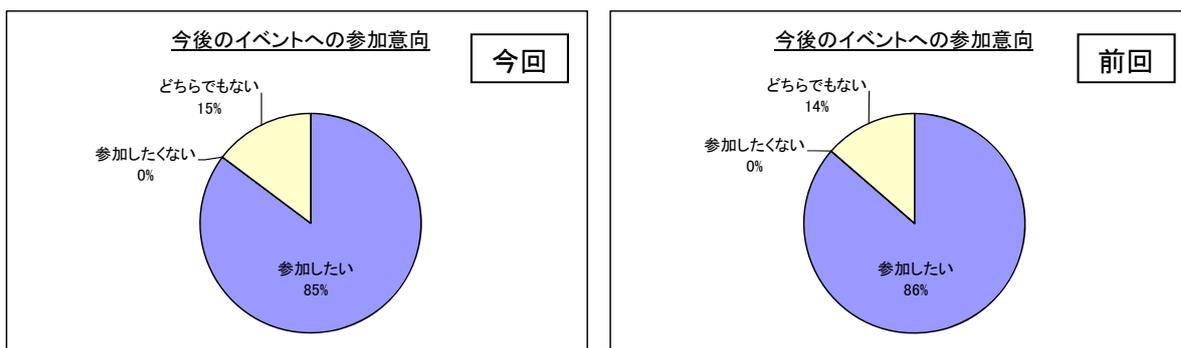
・受賞団体講演が参考になったと回答する参加者が最も多く、次いで基調講演、パネルディスカッションが参考になったと回答する参加者が多かった。

Q 7 総合的に、今日のシンポジウムに対する当初の参加目的は達成できましたか？



・前回と同様、非常に満足、ほぼ満足と回答した参加者が多かった。

Q 8 今後のEST関連の各種イベントへの参加意向についてはいかがですか？



・前回と同様、EST関連の各種イベントに参加したいと回答した参加者が多かった。

以上

Q9 主な自由意見（今後取り上げて欲しい交通と環境に関するテーマ、日ごろお感じになっているESTに関する課題など、ご意見がございましたらご自由にお書き下さい。）

- 毎回、地域の先進事例を学べて参考にしております。普及を考えると課題が多いとしますが、コミュニティ力と幅広い知識やその連携が必要なので、こうした事例は役に立つものと思います。
- 都市部における高齢化と交通モビリティ確保について（交通弱者対策、病院、買い物、健康増進）
  - モビリティの確保が介護予防に大きく寄与するものと期待している
  - 環境とはちょっと切り口がずれてはきますが
- 小豆島の取り組みが非常に参考になりました。環境の取り組みを進めるにはインセンティブが重要だと思うが、社会的にインパクトをうまく伝えていくことが重要だと感じました。
- 4月下旬に、横浜でMaaSに関するセミナーに参加した。そこでは、簡潔に言えば「全ての交通媒体（利用者）が協力して1つの交通システムを作ろう」という話をしていて。タクシーやバス、電車などの主要な企業がどのような動きをしていて、今後どうなりたいか、他企業とどうありたいかをディスカッションしてほしい。
- 自動車の抑制、自転車の活用にもっと突っ込んでほしい。
- 全体的に駆け足な印象を受けたので、時間が足りないように思えた。
- 地方に住む住民の地域交通の足を確保できる施策を確立してほしい。買い物、通院、観光、全国フリーパスのような制度が欲しい。
- ESTを定着させるための工夫をもっと知りたい。（今回の事例発表は非常に参考になった。）（とくに大分市/小豆島の事例）
- グリーンスローモビリティなどESTについて公共団体に向けての情報提供も必要ではあるが、一般市民にむけてもっとPRしてほしい。市民からの自発的な要望や活動がある方が公共団体は動きやすく、より普及が進むと思います。
- 一人くらい外国人が居た方が良くも・・・
- 更なる環境配慮。

以上